

## 課題名：データに基づくAIケアプラン作成支援システムの研究開発

代表機関／代表者：株式会社全老健共済会／漆間 伸之

分担機関：公益社団法人全国老人保健施設協会、株式会社最中屋、京都大学大学院医学研究科

研究期間：令和7年8月～令和8年3月

### 研究開発目的

- 介護業界では、現場の負担軽減と生産性向上を実現するため手段として介護DXの推進が求められている。
- 特にケアプラン作成業務は多大な時間や労力を要するため、AIを活用して現場の負担軽減と利用者本位のケアの両立を図るシステムを開発・改良し、介護DXのモデルケースの構築・普及を目指す。

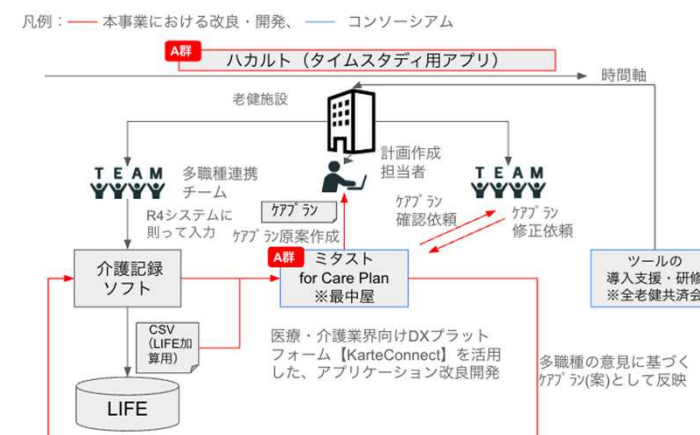
### 取り組み

- 超強化型老健5施設を協力施設とし、以下2システムを導入。実証実験を通じて、介護DXの有効性を定量・定性的に評価・検証する。
- ケアプラン原案生成システム「ミタスト for Care Plan」
  - 協力施設から利用者情報を収集し、利用者の状態等とアウトカムの関連性を分析。ケアプラン生成のためのアルゴリズムを開発。
  - アルゴリズムと利用者・家族の意向等の定性情報を構造化するAIを組み合わせて、提案根拠を明示したケアプラン原案を生成できるようにする。
- タイムスタディアプリ「ハカルト」
  - 相談援助業務や多職種連携時間の計測に対応できるよう改良。
  - 時間・場所に縛られずに情報連携がとれる機能を追加実装。
- 本システムは、全国老人保健施設協会が開発したケアマネジメント方式「R4システム電子化シート」を基盤として開発する。

### 期待される成果

- ケアマネジメント能力向上
- 業務効率化と多職種連携の促進
- 介護DXモデルの確立

### DXパッケージモデル



### 期待効果・プロダクトイメージ

